公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 さんさん		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	2025年 2月 15日		2025年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士を中心に、多職種の職員がいる。	ベテラン保育士を中心に皆で活動を検討して意見を出し合い、活動や業務内容を話し合っている。	管理者・ベテラン・中堅・新人など立場に関係なく、それぞれの視点で意見が出せる職場環境作り。
2	庭がおよそ450㎡ある。	大きな園庭は450㎡(およそ137坪)あり、大型遊具や砂場を完備。屋外で粗大運動をする機会を作っている。暑い時期は遮光ネットを張り、夏には遮光ネットの下で水遊びを行っている。	園庭活動を充実させるため、暑さ対策や園庭・清掃(草刈り・側溝掃除など)を行っている。
3	関連施設と連携が取りやすく、イベント開催時など情報共有や協力を得やすい環境が整っている。	大きなイベントの企画は半年以上前から準備し、意見を出し合いながら行っている。関連施設の予約が取りやすいため、日程が決まり次第会場の確保を行っている。	ご家族のニーズや近隣の方が参加できる充実したイベントになるように、半年以上前から企画して準備している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ベテラン職員と、新人職員の能力差が大きい。	足並みをそろえ支援を行っているが、個人スキルに大きな差がある。	施設内・施設外研修に積極的に参加してもらう。
2	活動アイテムなどの収納スペースが少ない	部屋や収納可能スペースには限りがあり、年々活動アイテムや製作物が増え、収納スペースが飽和してきている。	断捨離を行う。今後使うであろう活動アイテムも1年以上使用していないものは、破棄していきアイテム自体も更新していく。
3	駐車スペースが狭い。	送迎車を止めると駐車場が3台分しかなく、活動終了時の送迎乗り込み時間の送迎車、保護者様のお迎えの車、自転車等でごった返すことがある。事業所前の道も広くないので、ご迷惑をおかけすることがある。	職員駐車スペースの車をできるだけ奥に詰めたり、借用駐車場を有効に利用して接触事故等に繋がらないように注意する。